

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 令和4年8月23日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回数 3日目

令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	狭山市	代表者名	小谷野 剛		
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	04-2953-1111		
担当者役職	主査	担当者氏名	塚本 玲子	連絡先E-mail	
住所	350-1380 埼玉県狭山市1丁目23番5号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高橋 邦夫
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	自治体DXに関する研修「管理職向け研修」をお願いしました。主幹職以上の管理職へ向けた研修ということで、自治体DXが求められる時代の背景からこれからの社会に必要な情報分野のキーワード、新たな提案が部下から上がってきたときの対応といった、職場を俯瞰した観点で幅広く講義をしてくださいました。また、現在の市役所は、メールが会社で使われ始めた20年前から根本的な所が変わっていないなど、当たり前と思っていた働き方そのものに疑問をもつ姿勢の大切さなども分かりやすくご講義いただき、非常に刺激を受けることができました。
アドバイザーへの要望事項	なし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和4年8月10日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			14時00分	17時00分	
				活動時間（分）	180
3-2. 派遣場所	会場名	狭山市役所	最寄駅	狭山市	
	所在地	埼玉県狭山市入間川1丁目23番地5号	最寄駅からの交通手段	徒歩（10分）	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	19人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	【派遣依頼3回に共通】自治体DXについての知識が職員に備わっておらず、どのように取り組みを開始すべきかというきっかけや、方向性が定まっていない。以下の様な事態を避けるためにも、自治体DXについて職員が等しく正しい理解をする必要がある。 ①解らないが故に拒絶し、結果、従来の方法のまま思考停止する ②とにかくデジタル技術を中心に据えて考え、業務を無理に合わせる	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	【派遣依頼3回に共通】自治体DXとは何かを正しく理解し、各課での課題や改善策について、各々が見直したり、改めて考えるきっかけを得ることができる。従来の手法に捉われず、デジタル技術やその他の技術を融合させ、柔軟に業務を組み立てる気づきを得る。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	固定観念にとらわれず、柔軟な考えを持つことが肝要である。職員が働きやすい環境を作るために、管理職が適切な判断をしていくべき。業務が遅れている職員には、電話等がない集中できる環境を一時的に与える、出先機関で業務をさせるなど。外部での業務（テレワーク）や新たな技術投入の際には、セキュリティに関する課題も懸念されることから、情報リテラシーを学んだ上で、最大限のパフォーマンスを発揮できる環境を考案する必要もある。業務時間内にとりわけ持たせることが、結果的に	

	<p>ソフトウェアを元にした環境と考える必要がある。業務時間には対応できないとしても、将来的に顧客サービスの向上にも繋がる。</p>	
<p>支援を受け改善又は解決された内容 (具体的に記入下さい)</p>	<p>国の指針である「誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化」について紐解きながら、なぜ今自治体DXが求められているのか、自席でなければできない作業は何か、簡略化できる作業をやめる決断の重要性など、固定観念に疑問を抱かせる講義の展開により、研修生が業務改善への気づきを得ることが出来た。</p>	
<p>具体的な成果物</p>	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい。</p>	<p>⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない</p>
<p>改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的に記入ください)</p>	<p>自治体DXへの理解や意識づけについて、研修を受講していない職員には浸透していないが、研修受講者が筆頭となり、課で自治体DXの推進を行うことで徐々に職員全体の意識改革へと繋げていく必要がある。</p>	
<p>アンケートの内容と分析結果</p>	<p>講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 現在、アンケートの回答を受け付けている最中です。</p>	
<p>5-3. 今後の計画</p>	<p>最も当てはまるものをリストより選択下さい</p>	<p>⑤その他</p>
<p>事業の最終的な目指す姿</p>	<p>【派遣依頼3回に共通】以下の職員を各配属で育成できる基盤を構築する。 <ul style="list-style-type: none"> デジタル技術を融合させた業務の取組みについて、柔軟に考えられる思考力の獲得。 RPA等の技術を用いた多角的な業務の進め方を実行できるスキルの獲得。 </p>	

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。
なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

1-1.

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



